

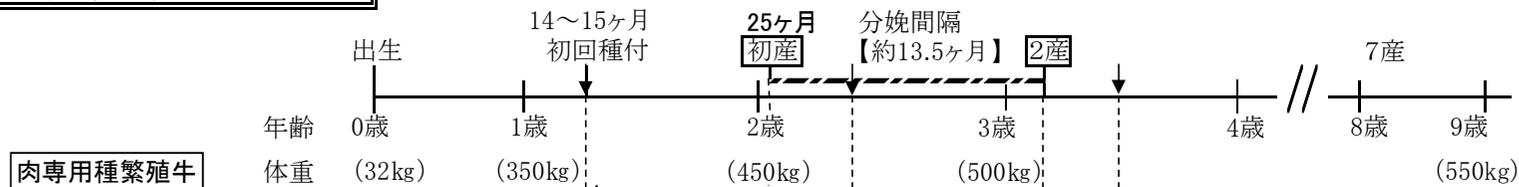
# 佐賀県畜産の概要

家畜のライフサイクル	．．．．．	P 1
最近の畜産を巡る情勢	．．．．．	P 3
畜産物の生産・流通状況	．．．．．	P 17
・牛乳・肉牛流通図		
・「佐賀牛」の概要		
・肉用牛改良資源施設飼養種雄牛一覧（R2年1月現在）		
・肉牛枝肉販売実績表		
・佐賀牛・佐賀産和牛輸出量推移		
・「肥前さくらポーク」の概要（生産体系）		
・肉豚・肥前さくらポーク流通図		
・食料自給率・消費量の推移		
・家計調査		
参考資料	．．．．．	P 28
・配合飼料価格の推移について		
・高病原性鳥インフルエンザ等の解説		

令和2年2月  
畜産課

# I 家畜のライフサイクル

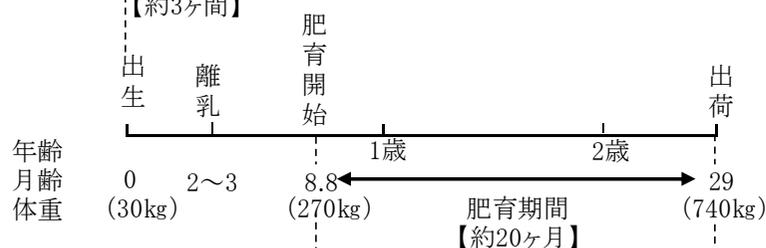
## 肉用牛のライフサイクル



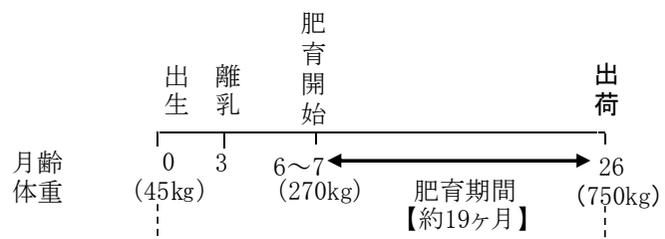
### 肉専用種繁殖牛



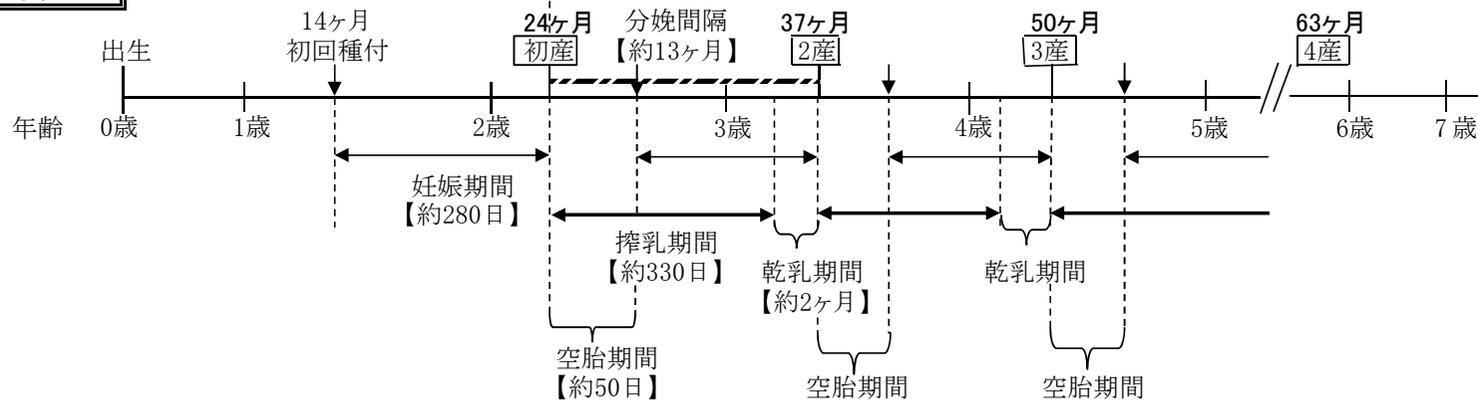
### 肉専用種肥育牛



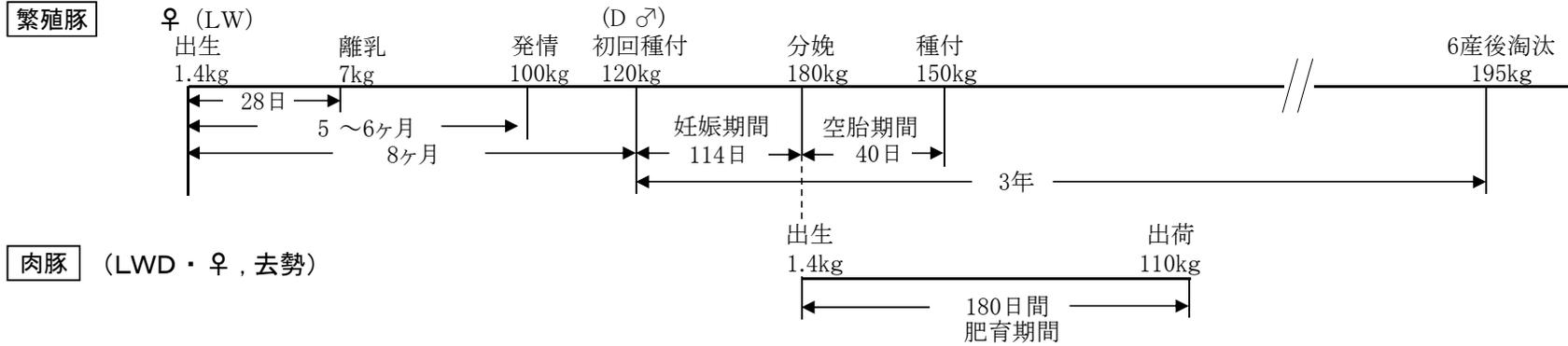
### 交雑種肥育牛



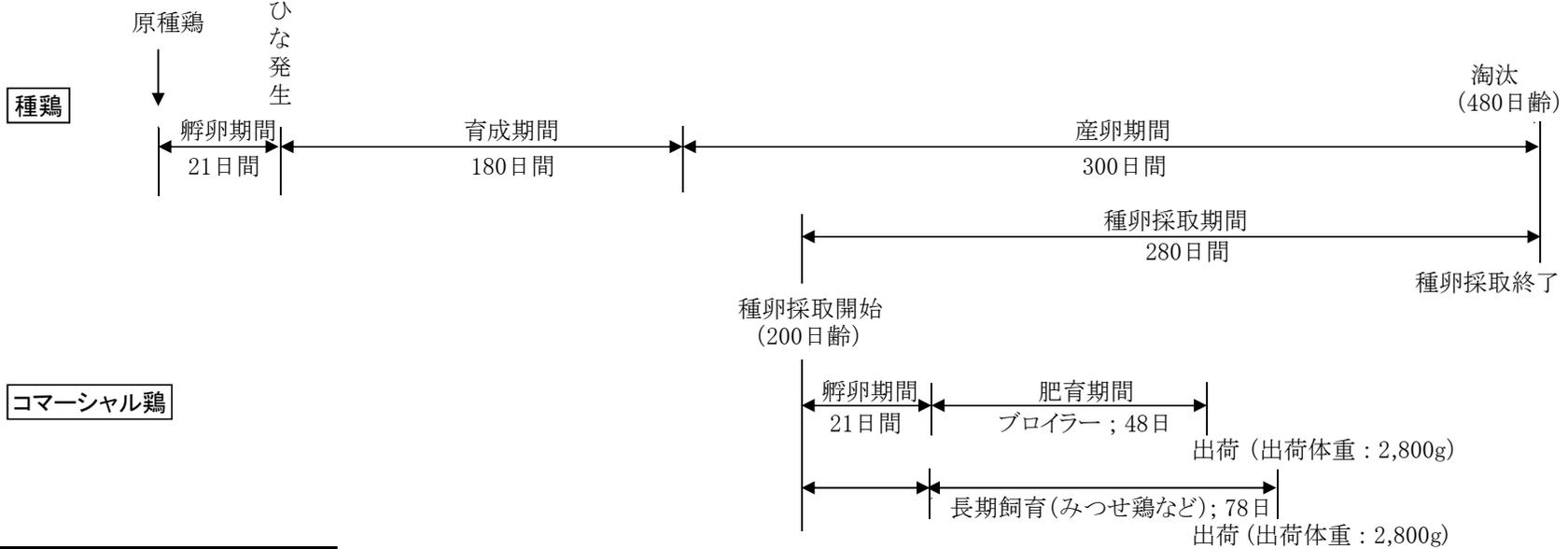
## 乳用牛のライフサイクル



## 豚のライフサイクル



## 肉用鶏のライフサイクル



## 採卵鶏のライフサイクル



## 最近の畜産をめぐる情勢

### 1 佐賀県における農業産出額の推移

○本県畜産部門の産出額は351億円で、農業全体の27.5%を占めている。

○品目別には、肉用牛が172億円でトップ、次いで鶏の110億円、豚の48億円となった。

(単位：億円、%)

区分(年次)	25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
農業産出額	1,207 (100.0)	1,230 (100.0)	1,303 (100.0)	1,315 (100.0)	1,311 (100.0)	1,277 (100.0)	105.8
耕種	900	929	977	971	967	921	102.3
畜産	300 (24.9)	295 (24.0)	320 (24.6)	338 (25.7)	337 (25.7)	351 (27.5)	117.0
肉用牛	130 (10.8)	127 (10.3)	147 (11.3)	169 (12.9)	159 (12.1)	172 (13.5)	132.3
乳用牛	19 (1.6)	18 (1.5)	18 (1.4)	17 (1.3)	18 (1.4)	19 (1.5)	100.0
うち生乳	17 (1.4)	16 (1.3)	16 (1.2)	15 (1.1)	15 (1.1)	15 (1.2)	88.2
豚	53 (4.4)	54 (4.4)	57 (4.4)	55 (4.2)	57 (4.3)	48 (3.8)	90.6
鶏	97 (8.0)	95 (7.7)	96 (7.4)	95 (7.2)	100 (7.6)	110 (8.6)	113.4
うち鶏卵	18 (1.5)	17 (1.4)	17 (1.3)	13 (1.0)	15 (1.1)	14 (1.1)	77.8
その他	1 (0.1)	2 (0.2)	1 (0.1)	2 (0.2)	3 (0.2)	2 (0.2)	200.0

資料 農林水産省「農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」(令和2年1月15日公表)

注 農業産出額には、上記以外に加工農産物を含む。

各部門の計と内訳は、ラウンドの関係で一致しない場合がある。

## 2 肉用牛

### (1) 飼養戸数及び頭数

○本県肉用牛の飼養戸数は608戸で、5年間で16.7%減少し、飼養頭数は52,100頭で、5年間で7.1%減少した。

○農家1戸当たり飼養頭数は85.7頭/戸で、5年間で11.6%増加した。

#### 【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		26年	27年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
飼養戸数	全国	57,500	54,400	51,900	50,100	48,300	46,300	80.5
	佐賀	730	688	667	640	623	608	83.3
飼養頭数	全国	2,567,000	2,489,000	2,479,000	2,499,000	2,514,000	2,503,000	97.5
	佐賀	56,100	52,500	51,200	51,800	51,700	52,100	92.9
1戸当たり飼養頭数	全国	44.6	45.8	47.8	49.9	52.0	54.1	121.3
	佐賀	76.8	76.3	76.8	80.9	83.0	85.7	111.6

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

### ア 肥育牛飼養及び生産状況

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		26年	27年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
肉専用種	飼養戸数	242	228	223	212	202	201	83.1
	飼養頭数	40,900	37,900	36,000	36,200	35,200	35,600	87.0
	1戸当たり飼養頭数	169.0	166.2	161.4	170.8	174.3	177.1	104.8
	出荷頭数	25,739	24,060	23,132	22,690	22,452	-	-
乳用種	飼養戸数	26	24	24	30	30	29	111.5
	飼養頭数	1,390	1,140	1,240	1,480	1,330	1,140	82.0
	1戸当たり飼養頭数	53.5	47.5	51.7	49.3	44.3	39.3	73.5
	出荷頭数	1,289	1,046	1,019	1,108	1,084	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

出荷頭数は、家畜改良センターデータ「と畜頭数」

注 飼養戸数は延べ戸数。飼養頭数は、肥育農家(一貫農家を含む。)が哺育育成中又は肥育中の頭数。

イ 子取り用めす牛（繁殖牛）飼養及び肥育素牛生産状況

（単位：戸、頭、頭/戸、％）

区分		26年	27年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
肉 専 用 種	繁殖牛飼養戸数 <sup>*</sup>	526	493	484	472	468	452	85.9
	繁殖牛飼養頭数 <sup>*</sup>	9,400	9,080	9,070	9,230	9,190	10,100	107.4
	一戸当たり繁殖牛飼養頭数 <sup>*</sup>	17.9	18.4	18.7	19.6	19.6	22.3	124.6
	出生頭数 <sup>**</sup>	7,682	7,718	7,459	7,763	8,027	-	-
	肥育素牛生産頭数 <sup>**</sup>	6,146	6,174	5,967	6,210	6,421	-	-
	と畜頭数 <sup>*</sup>	25,739	24,060	23,132	22,690	22,452	-	-
	肥育素牛県内自給率 <sup>**</sup>	23.9	25.7	25.8	27.4	28.6	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」（平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表）

家畜改良センターデータ（出生頭数、と畜頭数）

注 \*は年次計、\*\*は年度計。

肥育素牛生産頭数、と畜頭数、自給率は肉専用種（黒毛和種）のみの数値。

肥育素牛生産頭数は、出生頭数×0.8。

（2）生産及び価格の動向

○本県の和子牛出荷頭数は6,467頭で、5年間で2.0%減少した。

○肉牛出荷頭数は23,543頭で、5年間で17.1%減少した。

【和子牛及び肉牛出荷頭数】

（単位：頭、％）

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比	
和子牛出荷頭数	全国	351,119	337,807	326,300	312,298	309,778	312,477	89.0	
	佐賀	6,596	6,428	6,254	6,126	6,257	6,467	98.0	
肉牛出荷頭数 (と畜頭数)	全国	1,177,899	1,149,842	1,101,276	1,045,784	1,039,998	1,051,684	89.3	
	佐賀	28,393	27,028	25,120	24,162	23,806	23,543	82.9	
	うち黒毛和種	全国	529,567	507,422	482,594	444,120	439,690	452,961	85.5
		佐賀	26,993	25,739	24,060	23,132	22,690	22,452	83.2
	うち乳用種	全国	401,434	393,272	384,658	366,478	349,928	338,653	84.4
		佐賀	775	747	551	501	441	412	53.2
	うち交雑種	全国	232,509	235,691	221,712	224,183	239,632	249,012	107.1
		佐賀	625	542	491	518	667	672	107.5

資料 和子牛出荷頭数は農畜産業振興機構HP「肉用子牛取引状況表（中央家畜市場）」

肉牛出荷頭数のうち全国値は農林水産省「食肉流通統計」（と畜頭数）（令和元年7月31日公表）

佐賀県の値は家畜改良センターデータ

【和子牛価格及び牛枝肉卸売価格】

(単位：円/頭、円/kg、%)

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
和子牛価格	全国	482,338	551,427	647,489	794,852	786,209	762,527	158.1
	佐賀	482,260	550,848	645,477	808,990	796,458	769,313	159.5
和牛去勢A-5価格(大阪)		2,158	2,322	2,679	2,932	2,830	2,846	131.9
和牛去勢A-4	"	1,911	2,082	2,466	2,663	2,468	2,504	131.0
乳牛去勢B-3	"	850	958	1,307	1,125	1,090	1,182	139.1
乳牛去勢B-2	"	794	934	1,145	1,058	984	1,079	135.9

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

大阪市場の価格については「年度平均」。

(3) 肉専用種枝肉格付状況の推移(黒毛和種去勢 4・5率)

○本県産牛肉の格付状況は、5年間で4・5率が21.8%増加し、87.0%となった。

(単位：%、ポイント)

区分(年度)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年 - 25年
4 率	全国	38.1	44.4	44.6	43.6	42.1	40.5	2.4
	佐賀	45.4	47.1	45.0	43.4	41.9	39.7	-5.7
5 率	全国	20.0	29.1	33.4	36.7	40.0	43.2	23.2
	佐賀	19.8	30.8	36.6	39.1	42.5	47.2	27.4
合 計	全国	58.1	73.5	78.0	80.3	82.1	83.7	25.6
	佐賀	65.2	77.9	81.6	82.5	84.5	87.0	21.8

資料 (公社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」

(4) 佐賀牛の出荷頭数

○肉質の改良や肥育技術の向上などにより、佐賀牛の発生率は年々向上している。

(単位：頭、%、ポイント)

区分(年度)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年/25年比
佐賀牛の出荷頭数		7,905	9,090	9,452	9,352	9,702	10,224	129.3
JAグループ出荷頭数		20,050	19,218	17,704	16,975	16,619	16,224	80.9
佐賀牛の発生率		39.4	47.3	53.4	55.1	58.4	63.0	+24.0

資料 JAグループ佐賀

(5) 収益性の動向

○子牛・肥育牛生産の収益性は、前年度から減少したものの、畜産物価格の回復により、5年間では向上した。

○交雑種、乳用雄1頭当たりの所得は、前年度から減少し、赤字となった。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分(年度)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度-24年度
繁殖雌牛 1頭当たり所得(子牛生産費)	全国	60,614	122,244	183,446	304,598	419,609	370,773	310,159
	九州	53,684	128,457	177,397	293,740	414,344	349,068	295,384
去勢若齢肥育牛 1頭当たり所得	全国	3,871	45,122	99,854	216,603	249,292	123,445	119,574
	九州	14,036	63,473	88,197	169,291	237,520	82,104	68,068
交雑種肥育牛 1頭当たり所得	九州	59,133	3,664	24,560	132,003	95,389	25,336	33,797
乳用雄肥育牛 1頭当たり所得	九州	76,686	73,613	38,141	39,586	11,092	14,643	62,043

資料 農林水産省「農業経営統計調査 平成29年度畜産物生産費」(平成31年3月26日公表)

(6) 輸入の動向

○牛肉の輸入量は約62万トンで、5年間で15.8%増加した。

米国、豪州産で総輸入量の9割以上を占めており、5年間で米国産は26.6%、豪州産は11.6%増加した。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年/25年比
輸入量	535,134	516,200	487,098	525,694	571,854	619,686	115.8
うちアメリカ	200,811	186,266	163,650	207,422	230,606	254,325	126.6
うちオーストラリア	277,714	276,820	289,232	277,606	297,880	310,064	111.6

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

### 3 酪農

#### (1) 飼養戸数及び頭数

○本県酪農の飼養戸数は43戸で、5年間で37.7%減少し、飼養頭数は2,240頭で、5年間で30.4%減少した。

○農家1戸当たり経産牛飼養頭数は38.1頭/戸で、5年間で12.9%増加した。

#### 【飼養戸数及び頭数等】

(単位：戸、頭、頭/戸、kg/頭、%)

区分(年次)		26年	27年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
飼養戸数	全国	18,600	17,700	17,000	16,400	15,700	15,000	80.6
	都府県	11,700	11,000	10,500	10,100	9,540	9,070	77.5
	佐賀	69	68	64	55	45	43	62.3
飼養頭数	全国	1,395,000	1,371,000	1,345,000	1,323,000	1,328,000	1,332,000	95.5
	都府県	599,200	578,900	559,400	543,700	537,100	530,600	88.6
	佐賀	3,220	3,000	2,720	2,510	2,380	2,240	69.6
経産牛飼養頭数	全国	893,400	869,700	871,000	852,100	847,200	839,200	93.9
	都府県	423,100	410,000	400,000	392,700	385,700	374,700	88.6
	佐賀	2,330	2,170	2,030	1,900	1,820	1,640	70.4
未經産牛飼養頭数 (2歳未満)	全国	436,800	437,200	408,300	409,300	421,100	431,100	98.7
	都府県	147,500	141,200	131,200	126,300	129,000	132,700	90.0
	佐賀	750	710	600	530	520	520	69.3
1戸当たり経産牛 飼養頭数	全国	48.0	49.1	51.2	52.0	54.0	55.9	116.5
	都府県	36.2	37.3	38.1	38.9	40.4	41.3	114.2
	佐賀	33.8	31.9	31.7	34.5	40.4	38.1	112.9
経産牛1頭当たり 搾乳量	全国	8,320	8,478	8,582	8,564	8,645	-	-
	都府県	8,459	8,662	8,757	8,694	8,743	-	-
	佐賀	7,648	8,002	8,034	7,847	8,506	-	-

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

農林水産省「牛乳・乳製品統計」(令和元年7月29日公表)

注 「経産牛1頭当たり搾乳量」： 生乳生産量 / { (当年の経産牛飼養頭数 + 次年の経産牛飼養頭数) / 2 } \* 1,000

(2) 生産及び価格の動向

○県プール乳価は、前年と同等の102円/kgとなり、5年間で6.3%増加した。

【生乳生産量及び乳製品等の価格】

(単位：t、円/kg、円/25kg、%)

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
生乳生産量	全国	7,508,201	7,334,264	7,379,234	7,393,717	7,276,523	7,289,227	97.1
	都府県	3,625,659	3,523,522	3,507,915	3,471,032	3,383,628	3,324,034	91.7
	佐賀	18,606	17,209	16,804	15,786	14,596	14,715	79.1
原料用バター価格		1,237	1,305	1,369	1,354	1,374	1,389	112.3
脱脂粉乳価格(25kg)		15,746	16,725	17,543	17,537	17,912	17,952	114.0
佐賀県プール乳価		96	99	101	101	102	102	106.3

資料 農林水産省「牛乳・乳製品統計」(令和元年7月29日公表)

農畜産業振興機構「畜産物の需要関係の諸統計データ」

JAグループ佐賀データ(佐賀県プール乳価)

注 バター及び脱脂粉乳価格は年度平均

都府県の生乳生産量は、全国値から北海道値を差し引いた値

(3) 収益性

○搾乳牛1頭当たりの所得は272,140円で、5年間で75,539円増加した。

【収益性】

(単位：円/頭、%)

区分(年度)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度-24年度
搾乳牛通年換算 1頭当たり所得	全国	183,019	178,665	224,342	295,089	309,312	306,277	123,258
	九州	196,601	171,708	197,211	236,306	283,964	272,140	75,539

資料 農林水産省「農業経営統計調査 平成29年度畜産物生産費」(平成31年3月26日公表)

#### 4 養豚

##### (1) 飼養戸数及び頭数の動向

○本県養豚の飼養戸数は43戸で、5年間で20.4%減少し、飼養頭数は81,600頭で、5年間で1.8%減少した。

○農家1戸当たり飼養頭数は1,898頭/戸で、5年間で23.3%増加した。

##### 【飼養戸数及び頭数】

(単位：戸、頭、頭/戸、%)

区分(年次)		25年	26年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
飼養戸数	全国	5,570	5,270	4,830	4,670	4,470	4,320	82.0
	佐賀	61	54	48	46	45	43	79.6
飼養頭数	全国	9,685,000	9,537,000	9,313,000	9,346,000	9,189,000	9,156,000	96.0
	佐賀	87,800	83,100	83,100	84,100	84,000	81,600	98.2
子取り用めす豚 頭数	全国	899,700	885,300	844,700	839,300	823,700	853,100	96.4
	佐賀	8,420	7,950	7,710	7,790	7,460	7,390	93.0
1戸当たり飼養 頭数	全国	1,739	1,810	1,928	2,001	2,056	2,119	117.1
	佐賀	1,439	1,539	1,731	1,828	1,867	1,898	123.3

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

注 平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

##### (2) 生産及び価格の動向

○本県の肉豚と畜頭数は107,389頭で、5年間で12.4%減少した。

○卸売価格は535円/kgで、前年から減少したものの、5年間では7.4%上昇した。

##### 【と畜頭数及び枝肉価格】

(単位：頭、円/kg、%)

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
と畜頭数	全国	16,940,368	16,202,855	16,104,466	16,391,958	16,336,984	16,430,088	97.0
	佐賀	122,645	123,070	116,196	110,395	111,109	107,389	87.6
卸売価格(東京市場・省令)		498	592	557	527	562	535	107.4

資料 農林水産省「食肉流通統計」(令和元年7月31日公表)

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

注 卸売価格は「年度平均」。

## (3) 豚肉の上物率(格付「極上」と「上」の割合)

(単位: %、ポイント)

区分(年度)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年-24年
肉豚上物率	49.3	56.3	54.6	56.7	61.0	64.9	15.6

資料 JAグループ佐賀データ

## (4) 収益性の動向

○肥育豚1頭当たりの所得は10,409円で、5年間で6,745円増加した。

## 【収益性】

(単位: 円/頭、%)

区分(年度)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	29年度-24年度
肥育豚1頭当たり所得	全国	1,003	3,159	9,024	8,102	9,169	10,729	9,726
	九州	3,664	5,309	8,897	7,265	6,912	10,409	6,745

資料 農林水産省「農業経営統計調査 平成29年度畜産物生産費」(平成31年3月26日公表)

## (5) 輸入の動向

○豚肉の輸入量は約92万トンで、5年間で23.1%増加した。

## 【輸入量】

(単位: トン、%)

区分(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年/25年比
輸入量	744,271	816,218	825,617	877,006	925,631	916,172	123.1
うちアメリカ	275,114	268,091	265,755	270,263	263,116	258,453	93.9
うちカナダ	142,120	150,610	169,575	186,628	214,035	223,342	157.2
うちスペイン	37,568	70,378	81,698	89,712	110,220	109,433	291.3
うちデンマーク	116,999	127,154	116,135	117,384	112,221	103,920	88.8

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

## 5 採卵鶏

### (1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県採卵鶏の飼養戸数は30戸で、5年間で21.1%減少し、飼養羽数は484千羽で、5年間で19.7%減少した。

○農家1戸当たり飼養羽数は16.1千羽/戸で、5年間で1.5%増加した。

#### 【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		25年	26年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
飼養戸数	全国	2,650	2,560	2,440	2,350	2,200	2,120	82.8
	佐賀	39	38	33	30	30	30	78.9
飼養羽数	全国	172,238	172,349	173,349	176,366	181,950	182,368	105.8
	佐賀	704	603	572	544	511	484	80.3
成鶏めす飼養羽数	全国	133,085	133,506	134,569	136,101	139,036	141,792	106.2
	佐賀	529	474	445	407	368	363	76.6
1戸当たり飼養羽数	全国	65.0	67.3	71.0	75.0	82.7	86.0	127.8
	佐賀	18.0	15.9	17.3	18.1	17.0	16.1	101.5

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

注 戸数及び羽数は種鶏を除く

平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

### (2) 生産及び価格の動向

○本県の鶏卵生産量は6,731トンで、5年間で34.9%減少した。

#### 【出荷量及び価格】

(単位：トン、円/kg、%)

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
生産量	全国	2,521,974	2,501,921	2,520,873	2,562,243	2,601,173	2,627,764	104.2
	佐賀	10,332	9,183	8,686	7,549	7,219	6,731	65.1
卸売価格(東京・全農M・税抜)		207	216	227	205	202	171	82.6

資料 農林水産省「鶏卵流通統計」(令和元年7月31日公表)

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

注 卸売価格については「年度平均」。

## 6 ブロイラー

### (1) 飼養戸数及び羽数の動向

○本県ブロイラーの飼養戸数は68戸で、5年間で16.0%減少し、飼養羽数は3,935千羽で、7.5%増加した。

○農家1戸当たり飼養羽数は57.9千羽/戸で、5年間で28.0%増加した。

#### 【飼養戸数及び飼養羽数】

(単位：戸、千羽、千羽/戸、%)

区分(年次)		25年	26年	28年	29年	30年	31年	31年/26年比
飼養戸数	全国	2,420	2,380	2,360	2,310	2,260	2,250	94.5
	佐賀	82	81	72	72	70	68	84.0
飼養羽数	全国	131,624	135,747	134,395	134,923	138,776	138,228	101.8
	佐賀	3,662	3,659	3,805	3,676	3,806	3,935	107.5
1戸当たり飼養羽数	全国	54.4	57.0	56.9	58.4	61.4	61.4	107.8
	佐賀	44.7	45.2	52.8	51.1	54.4	57.9	128.0

資料 農林水産省「畜産統計」(平成31年2月1日現在、令和元年7月2日公表)

注 平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

### (2) 生産及び価格の動向

○本県のブロイラー出荷羽数は16,309千羽で、5年間で2.1%増加した。

○卸売価格は611円/kgで、5年間で0.2%減少した。

#### 【出荷戸数・羽数及び価格】

(単位：千羽、円/kg、%)

区分(年次)		24年	25年	26年	28年	29年	30年	30年/25年比
出荷羽数	全国	649,629	649,778	652,441	667,438	677,713	689,280	106.1
	佐賀	15,866	15,972	16,163	16,206	16,634	16,309	102.1
卸売価格(東京市場・もも)		567	612	626	649	635	611	99.8

資料 平成24年については、農林水産省「食鳥流通統計調査」

平成25年以降については、農林水産省「畜産統計」(平成30年2月1日現在、平成30年10月25日公表)

平成27年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

注 卸売価格については「年度平均」。

(3) 輸入の動向

○プロイラーの輸入量は約54万トンで、5年間で34.4%増加した。

ブラジル、タイ産で総輸入量の96.4%を占めており、5年間でタイ産が大幅に増加している。

【輸入量】

(単位：トン、%)

区分(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年/25年比
輸入量	405,548	498,654	550,892	525,767	593,040	544,910	134.4
うち中国	93	67	12	47	41	31	33.3
うちアメリカ	23,561	24,746	22,755	19,934	20,844	16,768	71.2
うちタイ	835	62,889	96,221	113,735	133,030	131,139	15,705.3
うちブラジル	376,199	406,156	425,930	388,506	434,458	394,490	104.9

資料 農畜産業振興機構HP「畜産物の需給関係の諸統計データ」

## 7 飼料

○飼料作物の作付面積は3,360haで、5年間で37.1%増加した。

### 【飼料作物作付面積】

(単位：ha、%)

区分(年次)		25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
飼料作物作付面積	全国	915,100	924,300	975,200	988,400	985,100	970,300	106.0
	佐賀	2,450	2,580	2,940	3,050	3,220	3,360	137.1

資料 農林水産省「作物統計」(平成31年3月7日公表)

○配合飼料価格は、66,951円/トンで、5年間で0.8%増加した。

### 【配合飼料価格】

(単位：円/トン、%)

区分(年度)	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	30年/25年比
配合飼料価格(工場渡し価格)	66,430	67,793	66,837	62,740	63,588	66,951	100.8

資料 農林水産省生産局畜産部飼料課編 公益社団法人配合飼料供給安定機構発行「飼料月報」

## 8 畜産環境保全

○家畜排せつ物法適用農家は、平成17年から全戸適正な処理を実施している。

### 【県内家畜ふん尿適正処理戸数(法適用農家)】

(単位：戸、%)

区分(年度)	25年	26年	27年	28年	29年	30年	30年/25年比
畜産農家戸数	782	731	760	693	690	611	78.1
適正処理戸数	782	731	760	693	690	611	78.1
適正処理割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

資料 「家畜保健衛生所調査」

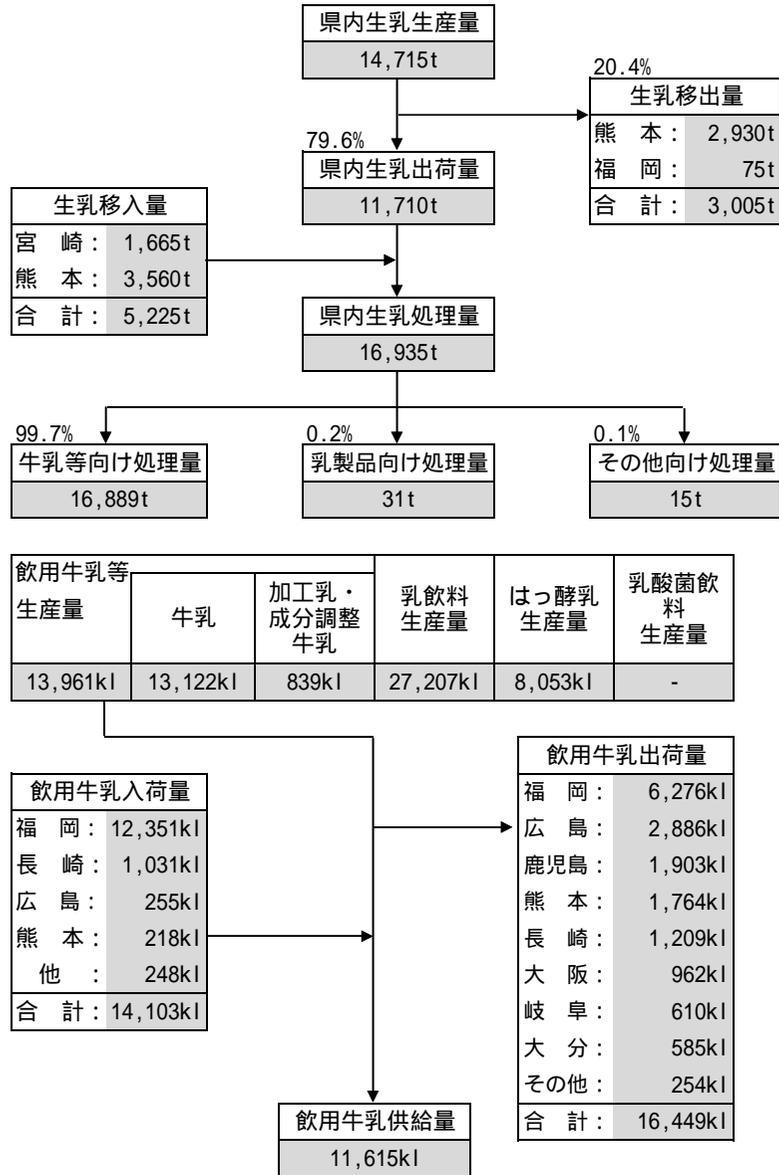
## 佐賀県内で飼養されている牛及び豚、鶏一覧

農林	市町	乳用牛		肉用牛									豚		採卵鶏		肉用鶏	
				肥育牛				繁殖牛										
		黒毛和種等		乳用雄牛及び交雑種		繁殖牛計		成牛	育成	子牛	戸数	頭数	戸数	羽数 (成鶏)	戸数	羽数		
		戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	頭数	頭数	頭数								
佐賀中部	佐賀市	8	112	5	391	3	6	22	939	581	45	313	5	14,570	18	60,048	6	260,607
	多久市	4	96	8	2,354			26	821	504	71	246	x	x	6	42,451	x	x
	小城市	3	117	14	896			17	671	405	41	225	5	3,465	x	x		
東部	鳥栖市							x	x	x	x	x			3	5,169	x	x
	神埼市	4	530	x	x			x	x	x	x	x			x	x	x	x
	吉野ヶ里町	x	x												x	x		
	基山町			x	x			x	x	x		x			x	x		
	上峰町			7	421													
	みやき町	x	x	4	233	x	x											
唐津	唐津市	11	455	53	11,724	x	x	169	5,235	3,216	1,057	962	16	30,904	14	116,031	17	1,065,200
	玄海町	4	418	21	5,379	x	x	28	1,576	1,033	283	260	x	x				
伊万里	伊万里市			61	9,138	x	x	36	865	574	162	129	x	x	6	22,033	15	552,651
	有田町			14	1,209			6	128	82	32	14	x	x	x	x	14	486,800
杵藤	武雄市	3	165	25	1,843	x	x	78	1,640	972	269	399	8	11,678	8	67,595	5	285,700
	大町町														x	x		
	江北町			4	538	x	x	x	x	x	x	x			3	36,212	x	x
	白石町			17	1,528	5	382	32	1,302	883	282	137	x	x	5	10,644	x	x
	鹿島市	x	x	16	1,866			21	970	711	144	115	x	x	4	36,460	x	x
	嬉野市	x	x	4	108			22	286	158	84	44	x	x	3	6,320	9	163,700
	太良町	x	x	12	620			28	973	570	199	204	10	17,002	x	x	16	951,900

資料：「家畜保健衛生所調査」(平成31年2月現在)

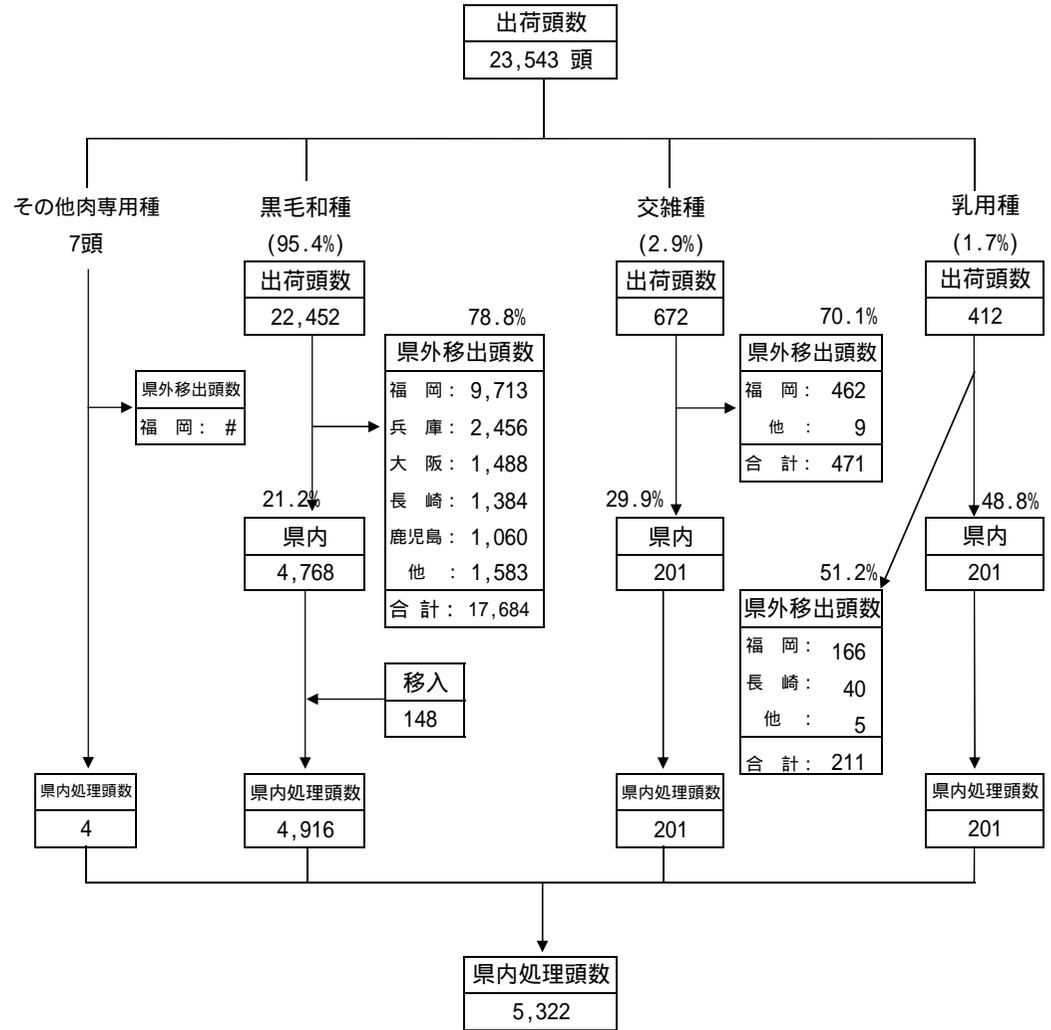
注：「x」は秘匿数値

### 牛乳流通図（平成30年）



（資料：農林水産省「牛乳・乳製品統計」）

### 肉牛流通図（平成30年度）



（資料：家畜改良センター（と畜頭数））

## 「佐賀牛」の概要

### 1 「佐賀牛」とは

「佐賀牛」とは、J A さがが定める基準に適合した牛肉で、その基準は次のとおり。

J A グループ佐賀の農家が佐賀県内で肥育した黒毛和牛で、(社)日本食肉格付協会が定める牛枝肉取引規格の格付けで、  
『肉質等級が4等級以上、かつ脂肪交雑のBMS値が7以上のもの』  
(佐賀牛のブランド力向上のため、平成16年にBMS値8以上から7以上に拡大)

### 2 佐賀牛の歴史【佐賀牛の基準】

- (1) 昭和36年より県産牛を関西市場へ出荷開始。
- (2) 50年代後半、肉質がよいことに注目され始める。
- (3) 59年から県経済連が、佐賀牛と表示して出荷。(歩留等級や肉質等級は問わず、全てを佐賀牛として販売。出荷先は、大阪、神戸、京都等。)
- (4) 62年度、A-5、B-5等級格付の「佐賀牛」を佐賀特選ブランドに選定し、63年度から佐賀牛のシールとともに佐賀特選ブランドシールを貼付して販売。
- (5) 平成2年8月に県内での「佐賀牛」取扱指定店の拡大と適正な表示販売を促進するため佐賀牛販売促進協議会が発足。
- (6) J A グループ佐賀では「佐賀牛」の量の確保とブランド力を高めるため、平成16年1月から定義基準を肉質等級5等級又は4等級のもので脂肪交雑のBMS値が7以上までに拡大。
- (7) 佐賀牛販売促進協議会においても県内の「佐賀牛」として販売できる牛肉の基準を拡大。
- (8) 平成19年から「佐賀牛」香港輸出開始。

### 3 佐賀牛の販売認定店制度

「佐賀牛」を取り扱う販売店(小売店)の認定(指定)状況は下記のとおりである。

#### (1) 県内

県内に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛表示販売取扱要領」の要件を満たす場合に佐賀牛販売促進協議会(事務局:県流通・通商課)が「佐賀牛販売店」として認定

[139店舗\(令和元年11月末現在\)](#)

#### (2) 県外

県外に所在する販売店からの申請に基づき、「佐賀牛取扱店舗指定店要領」の要件を満たす場合にJ A さがが「佐賀牛取扱店」に指定。

[828店舗\(令和元年11月末現在\)](#) \* 初期指定分で一部県内店を含む。

#### (3) 海外

[94店舗\(令和元年11月末現在\)](#)

(香港22、シンガポール26、タイ10、アメリカ8、マカオ8など)

### 4 県産和牛出荷頭数及び4・5率の変遷等

年度	県産和牛 出荷頭数 (頭)	繁殖雌牛 飼養頭数 (頭)	子牛 取引頭数 (頭)	和牛枝肉 平均単価 (円/ kg)	肉質4,5等級率		佐賀牛 出荷頭数 (頭)
					佐賀県 (%)	全国 (%)	
H16	25,238	9,890	6,114	1,889	59.7	53.9	4,362
17	24,690	9,820	6,151	1,998	59.9	54.8	4,792
18	24,886	9,470	6,307	2,001	61.8	55.5	4,742
19	25,023	10,200	6,236	1,926	58.7	56.5	4,830
20	26,338	11,200	6,898	1,735	61.5	59.0	5,884
21	27,158	11,700	7,344	1,616	62.1	58.3	6,137
22	27,164	11,500	7,507	1,590	62.8	57.2	6,211
23	28,075	11,100	7,207	1,590	63.8	58.8	6,668
24	27,307	10,100	6,796	1,698	67.5	63.0	7,221
25	26,933	9,540	6,591	1,847	65.2	58.1	7,905
26	25,739	9,400	6,317	1,956	77.9	73.5	9,090
27	24,060	9,080	6,149	2,345	81.6	78.0	9,452
28	23,132	9,070	6,174	2,540	82.5	80.3	9,352
29	22,690	9,230	6,440	2,416	84.5	82.1	9,702
30	22,452	9,190	6,605	2,466	87.0	83.7	10,224

資料: 出荷頭数: 「食肉流通統計」、H22から「家畜改良センターと畜頭数データ」  
飼養頭数: 「畜産統計」、子牛取引頭数、和牛枝肉平均単価: 佐賀県農協調査  
格付状況: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ)

注1: 佐賀県の格付状況は、全出荷先が対象。

2: 格付状況の本県と全国の比較は、平成14年度までは、5率(本県: 県経済連調査、全国: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ))で比較したが、平成15年度以降、4.5率の比較(本県、全国: (社)日本食肉格付協会(去勢のみ))に変更。

3: 「佐賀牛」出荷頭数 平成15年度までは5率以上、平成16年度からはBMS7以上

### 5 「佐賀牛」生産の課題

- (1) 肥育素牛県内自給率の向上【県内肥育素牛自給率: 2018 28.6%】

・佐賀県「食」と「農」の振興計画2019による目標値 2022 30.7%、2028 33.3%

- (2) 優良種雄牛の確保

・平成8年度から肉用牛改良資源施設を運営開始

・認定種雄牛(供用中) 「藤照」、「清武平」、「忠博」、「誠華山」

佐賀県肉用牛改良資源施設飼養 種雄牛一覽

令和2年1月21日現在（育種価評価 令和1年10月）

区分	種雄牛名	父	母方祖父	母方曾祖父	4代祖	5代祖	生年月日	産地・育種価・検定成績
選抜	フジ テル 藤照	安平照	北国7の8	糸福（大分）	第2福鶴	八重福	H21.10.12	産地：佐賀市大和町 育種価：CCCCBH（64頭） 直検：DG0.94、現検：枝重454.2kg、BMS7.3（H27.5月選抜）
	キヨタクヘラ 清武平	平茂晴	福之国	安平	福茂	糸秀	H23.12.6	産地：玄海町 育種価：CCCCCA（64頭） 直検：DG1.15、現検：枝重487.9kg、BMS8.2（H29.5月選抜）
	タダヒロ 忠博	勝忠平	平茂勝	安平	福茂	菊安（宮崎）	H24.11.29	産地：唐津市 育種価：ABHCBB（33頭） 直検：DG1.00、現検：枝重502.4kg、BMS7.4（H30.5月選抜）
	セイカザン 誠華山	百合茂	勝忠平	安平	隆桜	秀安	H25.11.18	産地：武雄市 育種価：HAABBA（29頭） 直検：DG1.46 現検：枝重536.3kg、BMS7.8（R元.5月選抜）
検定中（待機）	テルシゲサカエ 照茂栄	福安照	百合茂	福栄	北国7の3	第20平茂	H26.11.15	産地：白石町 直検：DG1.16 R2.5月選抜予定
	ハレ フクミ 晴福美	福安照	平茂勝	紋次郎	糸晴（佐賀）	第5福花	H26.11.27	産地：小城市 直検：DG1.10 R2.5月選抜予定
	トヨ クニ サチ 豊国幸	豊茂国	安福久	平茂勝	忠福	金徳	H27.10.1	産地：多久市 直検：DG=0.81 R3.5月選抜予定
	トヨ ハレ フク 豊晴福	豊茂国	平茂晴	福之国	安平	糸福（大分）	H27.10.25	産地：玄海町 直検：DG=1.28 R3.5月選抜予定
	トヨ シゲ ハナ 豊茂花	豊茂国	勝忠平	安平照	安平	糸福（大分）	H28.9.27	産地：多久市 直検：DG=1.12 R4.5月選抜予定
直接検定牛	ヒデオシ 秀吉	美津照重	勝忠平	福栄	糸晴（佐賀）	糸波	H30.11.28	産地：白石町 直検：DG=1.36 R6.5月選抜予定
	タケ ハレ サカエ 武晴栄	美津照重	百合茂	安福久	平茂勝	安平	H30.11.26	産地：玄海町 直検：DG=1.25 R6.5月選抜予定
	ユキ テル シゲ 幸照重	美津照重	百合茂	安福久	平茂勝	安平	H30.10.28	産地：玄海町 直検：DG=1.38 R6.5月選抜予定
検定予定	第23期 人工授精による作出に変更（H30.5～人工授精開始）							R7.5月選抜予定
	第24期 人工授精による作出に変更（R元.5～人工授精開始）							R8.5月選抜予定
全農種雄牛	正平星	百合茂	勝忠平	第一花国	安福165の9	糸福（大分）	H29.2.19	産地：北海道 H30.3月搬入
	満点太郎	金太郎3	百合茂	安福久	平茂勝	忠福	H29.5.29	産地：北海道 H31.3月搬入

## ○ 和牛枝肉販売実績表 (JAグループさが)

販売先	平成27年度									平成28年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,897	10.71	481.2	2,386	1,148,050	40.2	1,196	63.0%	1,663	9.80	487.0	2,597	1,264,572	38.1	1,024	61.6%
	神戸	2,256	12.74	432.8	2,358	1,020,530	33.8	1,373	60.9%	1,819	10.72	438.7	2,569	1,126,991	38.6	1,144	62.9%
	西宮	700	3.95	463.0	2,360	1,092,895	29.1	329	47.0%	734	4.33	474.5	2,574	1,221,445	28.1	402	54.8%
	京都	194	1.10	467.8	2,349	1,098,643	45.9	127	65.5%	124	0.73	474.1	2,507	1,188,790	30.6	69	55.6%
関東	東京	1,188	6.71	462.6	2,336	1,080,615	31.5	657	55.3%	934	5.50	468.9	2,514	1,178,790	27.6	504	54.0%
九州	畜産公社	2,605	14.71	435.1	2,272	988,539	27.7	1,208	52.4%	2,397	14.12	440.0	2,443	1,074,936	33.3	1,267	46.4%
	二日市	4,537	25.62	450.2	2,343	1,055,003	29.0	2,264	46.8%	4,751	27.99	459.5	2,544	1,169,062	31.2	2,487	49.9%
	福岡	3,242	18.31	451.4	2,377	1,072,912	32.8	1,780	54.9%	3,515	20.71	460.5	2,550	1,174,355	33.3	1,900	54.1%
	佐世保	309	1.75	383.3	2,256	864,772	18.1	97	31.3%	256	1.51	432.4	2,530	1,093,952	34.0	139	31.7%
	ナンチク	779	4.40	474.2	2,355	1,116,874	38.8	421	54.0%	778	4.58	479.7	2,573	1,234,271	37.4	416	53.5%
合計	17,707	100	450.7	2,346	1,057,177	31.9	9,452	53.4%	16,971	100	459.2	2,540	1,166,515	33.4	9,352	55.1%	

販売先	平成29年度									平成30年度							
	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	頭数 (頭)	シェア (%)	枝肉重量 (kg)	平均単価 (円)	販売金額 (円)	5率 (%)	佐賀牛 (BMS7以上)	佐賀牛率 (%)	
関西	南港	1,559	9.38	494.3	2,465	1,218,462	38.2	961	61.6%	1,488	9.17	503.9	2,520	1,269,830	48.9	1,050	70.6%
	神戸	1,521	9.15	449.6	2,427	1,091,300	40.0	970	62.9%	1,517	9.35	458.9	2,502	1,148,228	41.5	993	65.5%
	西宮	636	3.83	482.2	2,434	1,173,470	29.2	355	54.8%	696	4.29	489.9	2,505	1,227,367	37.8	424	60.9%
	京都	121	0.73	474.8	2,406	1,142,330	37.2	69	55.6%	6	0.04	500.8	2,389	1,196,228	66.7	4	66.7%
	姫路	155		490.2	2,676	1,311,898	65.8	127	55.6%	168	1.04	502.3	2,634	1,322,750	67.9	151	89.9%
関東	東京	768	4.62	490.7	2,405	1,180,149	36.1	452	55.6%	636	3.92	497.0	2,474	1,229,479	44.5	439	69.0%
九州	畜産公社	2,490	14.98	448.6	2,322	1,041,497	38.6	1,499	52.8%	2,091	12.89	460.6	2,387	1,099,602	41.1	1,295	61.9%
	二日市	4,743	28.54	469.4	2,417	1,134,592	35.2	2,664	52.3%	4,813	29.67	483.3	2,481	1,198,984	42.5	3,026	62.9%
	福岡	3,560	21.42	472.8	2,436	1,151,656	34.7	2,055	54.1%	3,556	21.92	483.2	2,461	1,188,999	38.7	2,283	64.2%
	佐世保	285	1.72	439.9	2,312	1,017,175	23.5	135	54.3%	378	2.33	427.1	2,308	985,940	21.7	151	39.9%
	ナンチク	779	4.69	487.1	2,434	1,185,479	36.3	414	53.5%	875	5.39	500.3	2,416	1,208,715	35.5	408	46.6%
合計	16,617	99	469.6	2,415	1,133,879	36.3	9,701	58.4%	16,224	100	480.6	2,466	1,184,994	41.3	10,224	63.0%	

※価格は税抜き

※JAさがから資料提供。

「佐賀牛®」「佐賀産和牛」の年間輸出実績【全農インターナショナル分・県流通デザイン公社調べ】

単位: kg

	仕向先								合計	
	アメリカ	香港	シンガポール	タイ	マカオ	フィリピン	ベトナム	台湾		
19年度		10,240.6							10,240.6	
20年度	5,053.2	11,744.9							16,798.1	
21年度	7,841.9	8,575.7							16,417.6	
22年度	743.1	21,653.0							22,396.1	
23年度	0.0	21,722.4	2,413.1						24,135.5	
24年度	1,653.9	21,364.9	4,172.3	38.1					27,229.2	
25年度	5,099.7	27,229.5	3,248.2	836.5	112.0				36,525.9	
26年度	4,938.3	26,893.4	6,288.7	3,428.4		1,722.1			43,270.9	
27年度	5,661.9	28,523.1	6,131.1	3,311.5		2,230.3	420.4		46,278.3	
28年度	8,678.7	34,319.6	5,147.3	2,294.4		2,960.6	244.5		53,645.1	
29年度	6,027.3	34,651.1	6,374.4	5,347.6	1,767.2	2,354.9		663.5	57,186.0	前年対比
30年度	2,223.1	39,566.1	6,245.7	5,053.6	3,448.7	4,439.8	72.9	7,397.1	68,447.0	119.7%

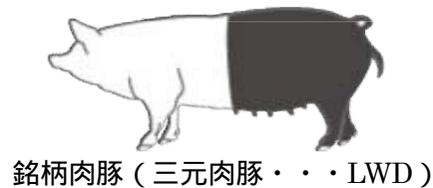
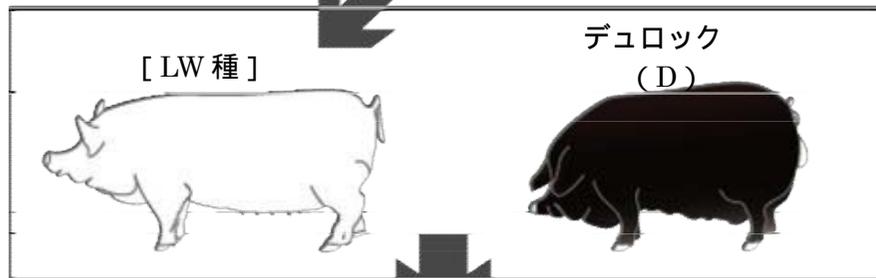
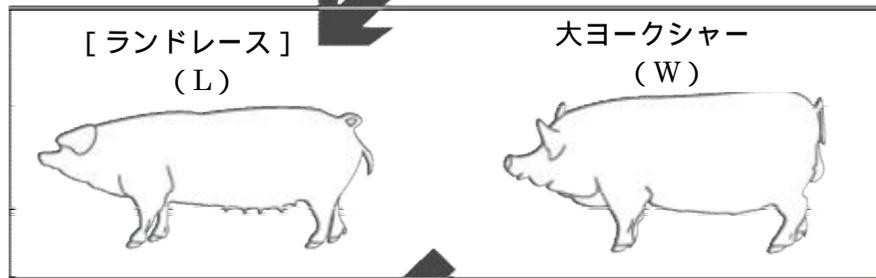
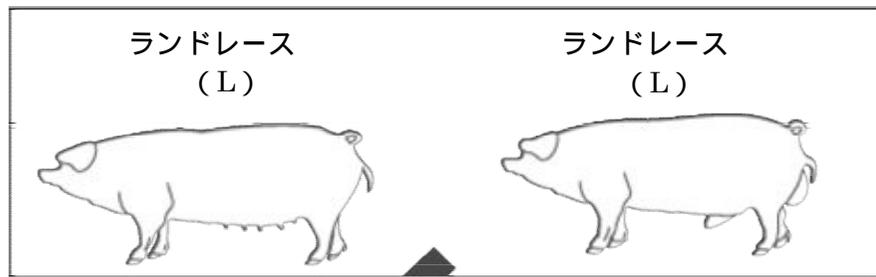
※アメリカ輸出は平成20年から、香港輸出は平成19年から開始した。

※アメリカ向けは、H22.5以降口蹄疫発生の影響で輸出停止し、H24.8より輸出再開。タイ輸出はH25.3より、フィリピン輸出は、H26.8より開始した。

〈参考: 香港における佐賀県産牛肉の輸出シェア率〉

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
日本産牛肉輸出実績	226,538.0	175,559.0	294,725.0	298,349.0	437,517.0	503,949.0	719,305.0	769,846.0	773,285.0
佐賀県産牛肉輸出実績	21,653.0	21,722.4	21,364.9	27,299.5	26,893.4	28,523.1	34,319.6	34,651.1	39,566.1
佐賀県産牛肉輸出シェア率	9.6%	12.4%	7.2%	9.2%	6.1%	5.7%	4.8%	4.5%	5.1%

「肥前さくらポーク」の概要 ~ 佐賀県産銘柄肉豚の生産体系 ~



特 徴

- ・ 限定農家から生産され、生産地が明確。
- ・ 安全性を基本とした専用飼料により生産。
- ・ 豚肉独特の臭みが少なく、肉のキメが細かく、軟らかい。
- ・ 肉色は鮮やかなさくら色。

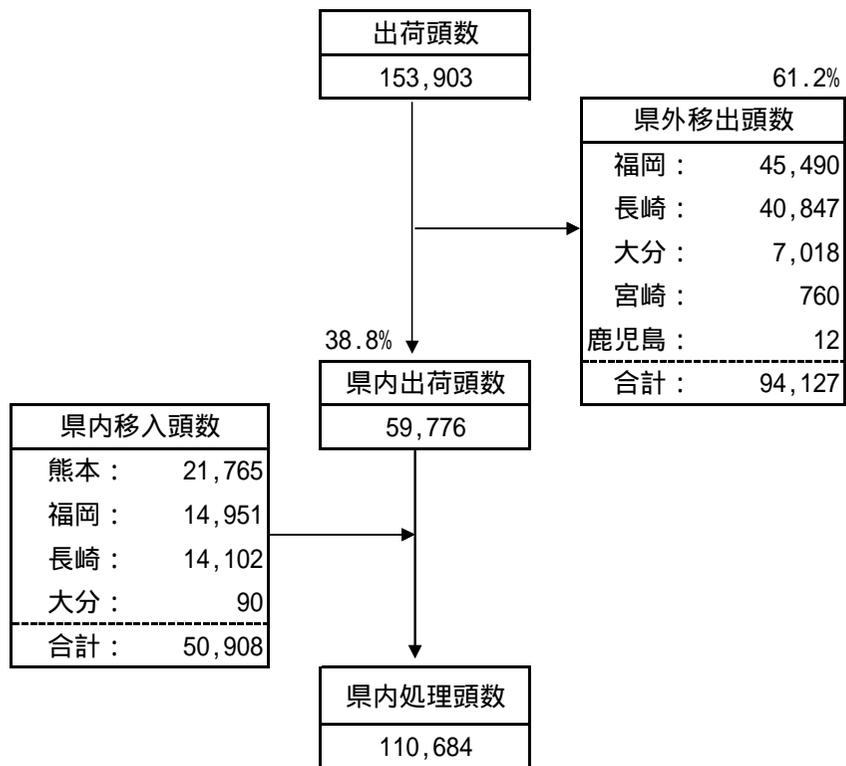
技術

- ・ この品質の良さは、なにより農家の生産技術の高さにあり、佐賀県における「上物」の割合はおおむね 61%となっています。
- ・ 成長に合わせて JA 養豚用飼料を給与し、豚自体が持つ消化吸収や抗病性を高め健康な発育を促し、さらに肉質や脂質の向上を図っている。

年 度	2 5 年	2 6 年	2 7 年	2 8 年	2 9 年	3 0 年
出荷頭数	20,993	21,177	22,093	20,426	19,444	19,124

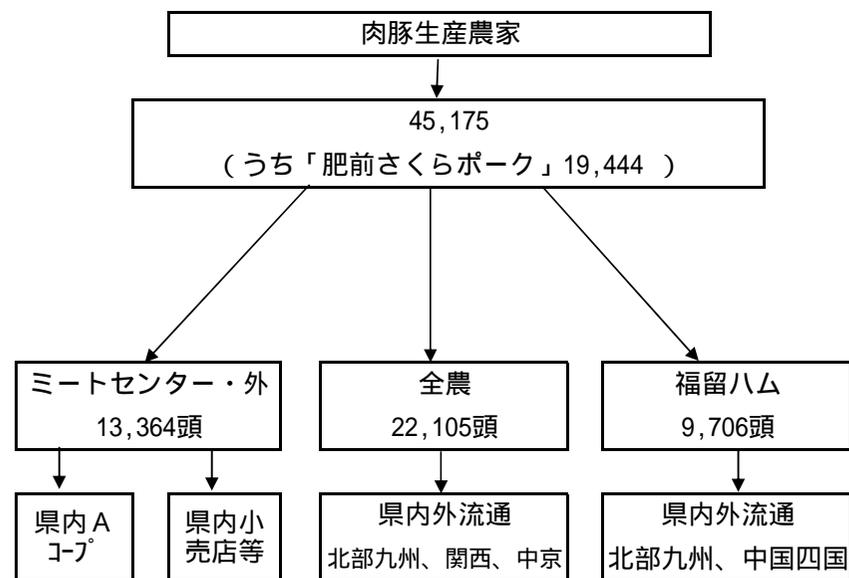
- ・ 平成 6 年度から、県経済連が銘柄肉豚「肥前さくらポーク」として販売開始
- ・ 平成 30 年度の出荷頭数は 19,124 頭で、JAグループ佐賀の肉豚総出荷頭数 (43,987 頭) の 43.5% を占める。
- ・ 生産農家戸数は、JA 系統農家 13 戸中 7 戸で、肥前さくらポークの生産者には出荷奨励金の支給が行われている (H31.4 月現在)。

## 肉豚流通図（平成21年）



(資料：農林水産省「畜産物流通統計」)  
平成22年以降公表なし

## 肥前さくらポーク流通図（平成29年度）



(資料：J A さが調査)

食料自給率・供給量の推移

区分(年度)		S50	S60	H7	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30(概算)
肉類	自給率(%)	76	81	57	54	56	54	55	55	55	54	53	52	51
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	17.9	22.9	28.5	28.5	29.1	29.6	30.0	30.1	30.2	30.7	31.6	32.7	33.5
うち牛肉	自給率(%)	81	72	39	43	42	40	42	41	42	40	38	36	36
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	2.5	3.9	7.5	5.6	5.9	6.0	5.9	6.0	5.9	5.8	6.0	6.3	6.5
うち豚肉	自給率(%)	86	86	62	50	53	52	53	54	51	51	50	49	48
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	7.3	9.3	10.3	12.1	11.7	11.9	11.8	11.8	11.9	12.2	12.4	12.8	12.9
うち鶏肉	自給率(%)	97	92	69	67	68	66	66	66	67	66	65	64	64
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	5.3	8.4	10.1	10.5	11.3	11.4	12.0	12.0	12.2	12.6	13.0	13.4	13.8

区分(年度)		S50	S60	H7	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30(概算)
鶏卵	自給率(%)	97	98	96	94	96	95	95	95	95	96	97	96	96
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	13.7	14.5	17.2	16.6	16.5	16.6	16.7	16.8	16.7	16.9	16.9	17.4	17.5

区分(年度)		S50	S60	H7	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30(概算)
牛乳・乳製品	自給率(%)	81	85	72	68	67	65	65	64	63	62	62	60	59
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	53.6	70.6	91.2	91.8	86.4	88.6	89.5	89.0	89.6	91.1	91.3	93.4	95.7
うち飲用向け	自給率(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	28.1	35.2	40.6	36.7	31.8	31.6	31.1	30.8	30.4	30.8	31.1	31.1	31.3
うち乳製品向け	自給率(%)	60	69	49	47	48	45	46	45	43	43	42	40	39
	1人1年当たり供給純食糧(kg)	24.8	35.0	50.4	54.9	54.5	56.8	58.2	58.0	59.0	60.2	60.1	62.2	64.3

区分(年度)		S50	S60	H7	H17	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30(概算)
飼料	自給率(%)	34	27	26	25	25	26	26	26	27	28	27	26	25

資料:農林水産省「食料需給表」(令和元年8月6日公表)

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(2016年～2018年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

平成28～30年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市, 相模原市, 浜松市, 堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(肉類)

順位	肉類 -----<金額>-----		順位	生鮮肉 -----<金額>-----		順位	牛肉 -----<金額>-----		順位	豚肉 -----<金額>-----		順位	鶏肉 -----<金額>-----		順位	合いびき肉 -----<金額>-----		他の生鮮肉 -----<金額>-----		
	全国	90,428		全国	72,652		全国	21,890		全国	30,028		全国	15,662		全国	2,545	全国	2,527	
1	大津市	110,884	1	奈良市	92,995	1	奈良市	38,247	1	さいたま市	34,484	1	大分市	19,703	1	鳥取市	4,203	1	熊本市	5,369
2	奈良市	110,190	2	和歌山市	92,411	2	和歌山市	37,690	2	横浜市	33,939	2	福岡市	19,212	2	高知市	3,966	2	札幌市	4,591
3	京都市	107,964	3	大津市	92,247	3	京都市	37,179	3	川崎市	33,699	3	大津市	18,993	3	長崎市	3,957	3	高松市	3,770
4	和歌山市	107,537	4	京都市	90,316	4	大津市	36,812	4	新潟市	33,673	4	京都市	18,466	4	佐賀市	3,846	4	広島市	3,734
5	堺市	106,964	5	堺市	89,483	5	堺市	34,941	5	福島市	33,241	5	佐賀市	18,328	5	徳島市	3,817	5	仙台市	3,684
10	佐賀市	100,097	10	佐賀市	83,553	10	佐賀市	30,394	38	佐賀市	27,630							8	佐賀市	3,356

順位	生鮮肉 -----<数量: g>-----		順位	牛肉 -----<数量: g>-----		順位	豚肉 -----<数量: g>-----		順位	鶏肉 -----<数量: g>-----		順位	合いびき肉 -----<数量: g>-----		他の生鮮肉 -----<数量: g>-----		
	全国	48,014		全国	6,573		全国	20,908		全国	16,474		全国	2,008	全国	1,563	
1	広島市	55,727	1	奈良市	9,596	1	新潟市	25,274	1	大分市	20,693	1	鳥取市	3,289	1	札幌市	3,029
2	佐賀市	55,470	2	大阪市	9,439	2	相模原市	24,774	2	福岡市	20,400	2	佐賀市	3,238	2	熊本市	2,631
3	福岡市	53,327	3	京都市	9,404	3	札幌市	24,511	3	佐賀市	20,247	3	高知市	3,170	3	鹿児島市	2,384
4	大分市	52,535	4	佐賀市	9,335	4	川崎市	24,232	4	宮崎市	19,349	4	長崎市	3,079	4	那覇市	2,302
5	岡山市	52,448	5	広島市	9,301	5	福島市	23,758	5	熊本市	19,287	5	高松市	3,022	5	仙台市	2,222
						29	佐賀市	19,717							12	佐賀市	1,890

順位	加工肉 -----〈金額〉-		順位	ハム -----〈金額〉-		順位	ソーセージ -----〈金額〉-		順位	ベーコン -----〈金額〉-		順位	他の加工肉 -----〈金額〉-	
	<b>全国</b>	<b>17,776</b>		<b>全国</b>	<b>5,272</b>		<b>全国</b>	<b>7,389</b>		<b>全国</b>	<b>2,592</b>		<b>全国</b>	<b>2,524</b>
1	札幌市	21,260	1	岐阜市	6,844	1	青森市	9,273	1	山形市	3,264	1	那覇市	5,769
2	青森市	20,885	2	相模原市	6,697	2	札幌市	8,511	2	札幌市	3,154	2	札幌市	4,648
3	横浜市	20,114	3	横浜市	6,683	3	名古屋市	8,488	3	川崎市	3,112	3	山形市	4,105
4	山形市	19,874	4	京都市	6,546	4	金沢市	8,260	4	横浜市	3,099	4	青森市	3,765
5	相模原市	19,771	5	大津市	6,447	5	山形市	8,228	5	青森市	3,059	5	仙台市	3,478
<b>38</b>	<b>佐賀市</b>	<b>16,544</b>	<b>31</b>	<b>佐賀市</b>	<b>4,971</b>	<b>40</b>	<b>佐賀市</b>	<b>6,777</b>	<b>19</b>	<b>佐賀市</b>	<b>2,692</b>	<b>32</b>	<b>佐賀市</b>	<b>2,104</b>

順位	ハム -----〈数量: g〉-		順位	ソーセージ -----〈数量: g〉-		順位	ベーコン -----〈数量: g〉-	
	<b>全国</b>	<b>2,717</b>		<b>全国</b>	<b>5,279</b>		<b>全国</b>	<b>1,510</b>
1	相模原市	3,445	1	青森市	6,971	1	那覇市	2,164
2	岐阜市	3,441	2	札幌市	6,309	2	札幌市	2,123
3	富山市	3,335	3	山口市	6,162	3	山形市	2,084
4	前橋市	3,310	4	富山市	6,142	4	青森市	1,934
5	大津市	3,235	5	鳥取市	5,891	5	秋田市	1,931
<b>31</b>	<b>佐賀市</b>	<b>2,652</b>	<b>40</b>	<b>佐賀市</b>	<b>4,871</b>	<b>17</b>	<b>佐賀市</b>	<b>1,641</b>

家計調査(二人以上の世帯) 都道府県庁所在市別ランキング(2016年～2018年) 出典:総務省統計局「家計調査結果」

平成28～30年平均の家計調査品目別データ(二人以上の世帯(1世帯当たり年間の支出金額及び購入数量))により、どのような品目でどの程度の地域差があるのかを明らかにするため、都道府県庁所在市別ランキング(川崎市, 相模原市, 浜松市, 堺市及び北九州市を含む)を集計されたもの。(乳卵類)

順位	乳卵類 -----<金額>-----		順位	牛乳 -----<金額>-----		順位	乳製品 -----<金額>-----		順位	ヨーグルト -----<金額>-----		順位	バター -----<金額>-----		順位	チーズ -----<金額>-----		順位	卵 -----<金額>-----	
	全国	45,800		全国	15,256		全国	21,108		全国	13,363		全国	1,026		全国	5,524		全国	9,436
1	奈良市	53,124	1	奈良市	18,256	1	東京都区部	25,789	1	盛岡市	16,600	1	横浜市	1,546	1	東京都区部	7,347	1	高知市	11,338
2	千葉市	52,178	2	千葉市	17,638	2	横浜市	25,633	2	千葉市	16,448	2	東京都区部	1,465	2	横浜市	7,286	2	福島市	11,333
3	横浜市	51,867	3	広島市	17,584	3	千葉市	25,315	3	山形市	15,888	3	奈良市	1,361	3	川崎市	7,233	3	鳥取市	11,151
4	東京都区部	50,659	4	鳥取市	17,275	4	盛岡市	24,839	4	名古屋市	15,844	4	札幌市	1,337	4	さいたま市	6,908	4	堺市	11,099
5	津市	49,699	5	神戸市	17,116	5	山形市	24,507	5	水戸市	15,741	5	神戸市	1,329	5	千葉市	6,648	5	奈良市	10,737
38	佐賀市	44,160	25	佐賀市	15,542	42	佐賀市	18,779	41	佐賀市	11,936	36	佐賀市	885	38	佐賀市	4,889	17	佐賀市	9,840

順位	牛乳 -----<数量:リットル>-----	
	全国	77.59
1	千葉市	93.05
2	奈良市	90.07
3	さいたま市	89.06
4	広島市	88.13
5	大津市	86.33
21	佐賀市	78.87

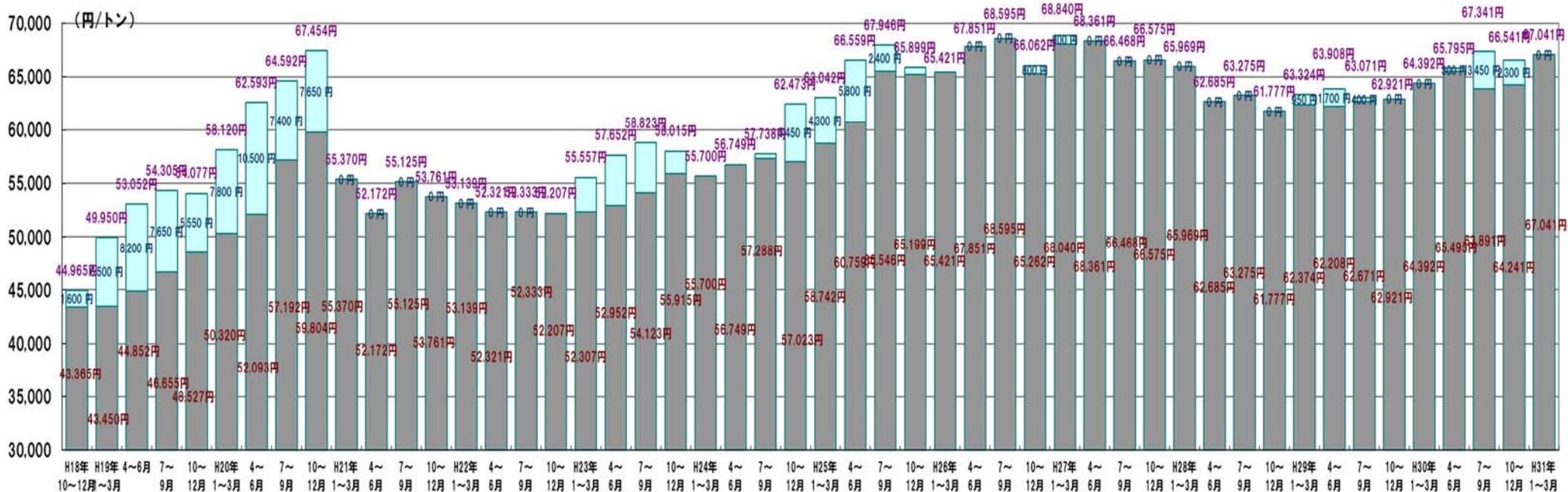
順位	バター -----<数量: g>-----		順位	チーズ -----<数量: g>-----		順位	卵 -----<数量: g>-----	
	全国	489		全国	3,294		全国	31,439
1	横浜市	743	1	横浜市	4,389	1	鳥取市	39,528
2	東京都区部	686	2	さいたま市	4,223	2	富山市	36,561
3	札幌市	658	3	川崎市	4,160	3	堺市	35,666
4	奈良市	628	4	相模原市	4,017	4	青森市	35,502
5	神戸市	622	5	東京都区部	4,007	5	広島市	34,965
31	佐賀市	435	31	佐賀市	3,056	25	佐賀市	31,879

## 配合飼料価格の推移について(佐賀県)

平成 18 年 10～12 月期以降は、アメリカ産とうもろこしの国際価格や海上運賃の高騰等の影響を受け、配合飼料価格は上昇傾向が続き、平成 20 年 10～12 月期には約 67,500 円/トンとなり、値上がり前の価格(約 42,200 円：H17 年 10～12 月期)と比べると約 25,300 円/トン上昇した。

その後、穀物の国際相場や海上運賃の急落、為替相場の円高基調などにより、平成 21 年 1～3 月期は大幅に下落し、それ以降、小幅な上昇や下落を繰り返しながら 52,000～53,000 円前後で高止まりしていたが、平成 24 年 10～12 月期は、アメリカの干ばつの影響により、とうもろこしや大豆粕など飼料原料の高騰から大幅に上昇し、さらに、急激な円安の進展により平成 25 年 7～9 月期は、約 68,000 円/トンの高値となった。平成 25 年産のアメリカ産トウモロコシは豊作であったものの円高の影響等から高値で推移した。平成 28 年は円高の影響等により下落したものの、平成 30 年からは上昇傾向に転じ、H31 年 1～3 月期は **67,041** 円/トン程となる見込みである。

	H18年 10～12 月	H19年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H20年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H21年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H22年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H23年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H24年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H25年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H26年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H27年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H28年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H29年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H30年 1～3月	4～6月	7～9月	10～ 12月	H31年 1～3月
配合飼料価格 ※1	44,965	49,950	53,052	54,305	54,077	58,120	62,593	64,592	67,454	55,370	52,172	55,125	53,761	53,139	52,321	52,333	52,207	55,557	57,652	58,823	58,015	55,700	56,749	57,738	62,473	63,042	66,559	67,946	65,899	65,421	67,851	68,595	66,062	68,840	68,361	66,468	66,575	65,969	62,885	63,275	61,777	63,324	63,908	63,071	62,921	64,392	65,795	67,341	66,541	67,041
上下幅	1,677	4,985	3,102	1,253	△ 228	4,043	4,473	1,999	2,862	△ 12,084	△ 3,198	2,953	△ 1,364	△ 622	△ 818	12	△ 126	3,350	2,095	1,171	△ 808	△ 2,315	1,049	989	4,735	569	3,517	1,387	△ 2,047	△ 478	2,430	744	△ 2,533	2,778	△ 479	△ 1,893	107	△ 606	△ 3,284	590	△ 1,498	1,547	584	△ 837	△ 150	1,471	1,403	1,546	△ 800	500
農家負担額 (推計)	43,365	43,450	44,852	46,655	48,527	50,320	52,093	57,192	59,804	55,370	52,172	55,125	53,761	53,139	52,321	52,333	52,207	52,307	52,952	54,123	55,915	55,700	56,749	57,288	57,023	58,742	60,759	65,546	65,199	65,421	67,851	68,595	65,262	68,040	68,361	66,468	66,575	65,969	62,885	63,275	61,777	63,324	62,208	62,671	62,921	64,392	65,495	63,891	64,241	67,041
上下幅	77	85	1,402	1,803	1,872	1,793	1,773	5,099	2,612	△ 4,434	△ 3,198	2,953	△ 1,364	△ 622	△ 818	12	△ 126	100	645	1,171	1,792	△ 215	1,049	539	△ 265	1,719	2,017	4,787	△ 347	222	2,430	744	△ 3,333	2,778	321	△ 1,893	107	△ 606	△ 3,284	590	△ 1,498	597	△ 166	463	250	1,471	1,103	△ 1,604	△ 800	500
補てん額	1,600	6,500	8,200	7,650	5,550	7,800	10,500	7,400	7,650	0	0	0	0	0	0	0	0	3,250	4,700	4,700	2,100	0	0	450	5,450	4,300	5,800	2,400	700	0	0	0	800	800	0	0	0	0	0	0	950	1,700	400	0	0	300	3,450	2,300	0	



## 高病原性鳥インフルエンザとは

1. 原因（病原体）・・・ 鳥インフルエンザウイルスのうち高病原性のもの  
（*Orthomyxoviridae Influenza virus A*）
2. 感受性動物・・・ 鶏、あひる、七面鳥、うずら等
3. 症 状・・・ 神経症状（首曲がり、沈うつ等）、呼吸器症状、消化器症状（下痢、食欲減退等）、高い死亡率が主な症状
4. 潜伏期間・・・ 2～6日
5. 伝播様式・・・ 空気及び接触感染
6. 発生状況
  - (1) 国 内
    - 1925年（大正14年）
    - 2004年（平成16年） 山口県、大分県、京都府、  
兵庫県（京都府の関連発生）
    - 2005年（平成17年） 茨城県、埼玉県
    - 2007年（平成19年） 宮崎県、岡山県
    - 2009年（平成21年） 愛知県
    - 2010年（平成22年） 島根県
    - 2011年（平成23年） 西日本を中心に全8県
    - 2014年（平成26年） 熊本県、宮崎県、山口県
    - 2015年（平成27年） 岡山県、佐賀県
    - 2016年（平成28年） 青森県、新潟県、北海道、宮崎県  
熊本県
    - 2017年（平成29年） 岐阜県、宮崎県、佐賀県、宮城県  
千葉県
    - 2018年（平成30年） 香川県
  - (2) 外 国 アジア、欧州、アフリカ等  
（東南アジア、中東及び中国では、人への感染の報告あり）
7. 診断法
  - (1) 臓器、糞便からのウイルス分離を行う。
  - (2) 血清学的検査で抗体の確認を行う。
8. 予防法・・・ 鶏用のワクチンは一部の国で限定的に使用。
9. 治療法
  - (1) なし。
  - (2) 発生した場合は、摘発・淘汰によりまん延を防止する。

## 口蹄疫とは

- 1.原因(病原体)・・・口蹄疫ウイルス(*Picornaviridae Aphthovirus*)
- 2.感受性動物・・・偶蹄類の動物  
(牛、水牛、めん羊、山羊、豚、鹿、いのしし)
- 3.症 状・・・突然40～41の発熱、元気消失に陥ると同時に多量の流涎(よだれ)がみられ、口、蹄、乳頭等に水泡を形成し、食欲不振、跛行(足をひきずる)を呈する。乳用牛の場合には泌乳量が低下し、肉用家畜の場合は肥育効率が低下する等家畜の経済能力が著しく低下する。人に感染することはない。
- 4.潜伏期間・・・2～14日
- 5.伝播様式・・・感染動物との接触(飛沫感染)、感染動物の生産物、汚染物品により伝播
- 6.発生状況  
(1)国内  
1908年(明治41年)東京、神奈川、兵庫、新潟 計522頭  
2000年(平成12年)3、4月 宮崎県2戸20頭(疑似患畜35頭)  
5月 北海道1戸2頭(疑似患畜705頭)  
2010年(平成22年)4月～7月 宮崎県292戸 211, 608頭  
  
(2)外国 アジア、アフリカ、南米 他
- 7.診 断 法  
(1)血清学的検査により抗体の確認を行う。  
(2)水泡材料から、ウイルス分離を行うとともに、抗原検出ELISA法、PCR検査によりウイルス遺伝子等を確認する。
- 8.予 防 法・・・不活化ワクチンが用いられているが、現在は発症家畜の淘汰による清浄化の推進が中心となりつつある。  
我が国では厳重な検疫を実施(発生国からの畜産物等の輸入禁止措置等)している。
- 9.治療法  
(1)なし。  
(2)発生した場合は、家畜伝染病予防法に基づき、まん延防止のため家畜の所有者による殺処分等の対象とされる。

## 牛海綿状脳症(BSE)とは

- 1.原因(病原体)・・・異常プリオン(タンパク質の一種)
- 2.感 染・・・BSEに感染した牛の脳、脊髄、リンパ組織等を含む飼料の摂取により、経口感染する。
- 3.感受性動物・・・牛、水牛
- 4.症 状・・・2年以上の長い潜伏期間の後、行動異常、運動失調などの神経症状を呈し、発病後2週間から6ヶ月の経過で死に至る。  
中枢神経、特に延髄、橋及び中脳の神経細胞の原形質に空胞を形成し、基質に海綿状を呈する。
- 5.発生状況  
(1)国内・・・我が国で乳用種32頭、黒毛和種4頭の発生。  
(2)外国・・・英国(グレート・ブリテン)において1986年に最初の発生が報告され、1992年から93年にピークとなった。  
その後、EU諸国で発生が認められている。
- 6.診 断 法  
・歩行異常等の神経症状を確認する。  
・脳を顕微鏡検査により確認する。  
・脳からプリオンの検出を行う。
- 7.予 防 法  
(1)動物検疫による発生国からの畜産物等の輸入禁止措置等の等の実施。  
(2)家畜伝染病予防法に基づく法定伝染病とされており、発生時の届出による発生状況の迅速な把握。  
(3)反すう動物を原料とした飼料及びペットフードを牛に給与しない。
- 8.治 療 法  
(1)なし  
(2)発生した場合、患畜及び疑似患畜は伝達性海綿状脳症として家畜伝染病予防法に基づき、殺処分等の対象とされる。

## C S F（豚熱）とは

1. 原因（病原体）・・・C S F ウイルス（*Flaviviridae Pestivirus*）
2. 感受性動物・・・豚、イノシシ
3. 症状・・・ウイルスの株や豚の月齢・状態により、極めて多様な病原性を示す。特定症状に挙げられているものには、紫斑、高熱、結膜炎、後駆麻痺、発育不良、血液凝固不全、流死産、白血球数減少、死亡頭数増加等がある。
4. 潜伏期間・・・2～6日（急性型）
5. 伝播様式・・・感染動物との直接接触（経口・経鼻）、汚染された器具、人との接触による。豚肉製品中に長期間存在しているので、厨芥、残飯が伝播源として重要。
6. 発生状況
  - （1）国内  
2018年（平成30年）岐阜県で26年ぶりに発生。  
以降東海・関東地方を中心に複数の県で発生が継続している。
  - （2）外国  
北米、オーストラリア、スウェーデンなどでは清浄化。
7. 診断方法
  - （1）血清学的検査（抗体の検出）を行う。
  - （2）扁桃、脾臓等を用いた抗原検査（ウイルス分離検査、PCR検査及び蛍光抗体法）。
8. 予防方法  
飼養衛生管理基準の遵守による病原体の農場内侵入防止が原則。ただし農林水産大臣が推奨する地域では、都道府県知事の命令でワクチンが使用される。
9. 治療方法
  - （1）なし
  - （2）家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

## オーエスキー病とは

1. 原因（病原体）・・・オーエスキー病ウイルス（豚ヘルペスウイルス1）
2. 感受性動物・・・豚、牛、緬山羊、その他多くの動物
3. 症状・・・豚では、主に不顕性感染だが、発病すると発熱、食欲不振、嘔吐、下痢、神経症状等を呈し死亡する。妊娠豚が感染した場合は、約50%が流産する。  
豚以外の動物は、激しい搔痒症を示して2、3日の経過で死亡する。
4. 伝播様式・・・ウイルスの飛沫による経気道感染、摂食感染が主である。  
豚以外の動物は、豚との接触により感染する。
5. 発生状況
  - （1）国内  
1979年に初めて発生して以来、常在化した。  
\* 佐賀県は、本病の発生は認められておらず、清浄県である。
  - （2）海外  
オーストラリア、北米、ヨーロッパの一部の国で清浄化。
6. 診断方法
  - （1）血清学的検査（抗体の検出）を行う。  
ラテックス凝集反応、E L I S A 検査、中和試験など
  - （2）病原学的検査  
鼻汁、脳乳剤、扁桃等を材料としてウイルス分離を行う。
7. 予防方法  
予防にはワクチンが使用されるが、ワクチン使用を含め本病防疫に関しては、オーエスキー病防疫対策要領に従う必要がある。  
\* 佐賀県内では、オーエスキー病ワクチンは使用していない。
8. 治療方法
  - （1）なし
  - （2）発生した場合には、発生場所の消毒、感染豚の淘汰などが望ましい

## ヨーネ病とは

1. 原因（病原体）・・・ヨーネ菌（*Mycobacterium paratuberculosis*）
2. 感受性動物・・・牛、水牛、鹿、めん羊、山羊
3. 症状・・・多くは不顕性感染だが、分娩1ヶ月以内に発症することが多い。  
1～2週間を周期とする間欠性の下痢と急激な消瘦、泌乳停止。下痢は難治性であり、大部分は消瘦して衰弱死する。
4. 伝播様式・・・病畜の糞便で汚染された乳汁や飲水を介した経口感染が主であるが、重症例では、胎盤感染も成立する。
5. 発生状況
  - (1) 国内  
1930年に初めて、輸入牛で確認されたが、1980年以降から、徐々に国産牛での発生が増加している。
  - (2) 外国  
北米、ヨーロッパ諸国、オーストラリアでも発生し、重要損耗疾病として注目されている。
6. 診断方法
  - (1) 血清学的検査（抗体の検出）遺伝子学的検査（リアルタイムPCR法）を行う。
  - (2) 免疫学的検査では、遅延型過敏反応を検出するヨーニン反応がある。
  - (3) 糞便から直接菌を確認する（抗酸菌染色）方法と、糞便、腸管、腸間膜リンパ節を用いた菌分離を行う。
7. 予防方法  
有効なワクチン等はない。  
感染牛の早期摘発・淘汰と汚染物品の消石灰等による徹底的な消毒。
8. 治療方法
  - (1) なし
  - (2) 家畜伝染病予防法により、発生時には、まん延防止を目的とした家畜の所有者による殺処分の対象とされている。

## 牛白血病とは

1. 原因（病原体）・・・牛白血病ウイルス（*Retroviridae Deltaretrovirus*）
2. 感受性動物・・・牛、めん羊、山羊
3. 症状・・・地方病型、子牛型、胸腺型、皮膚型があり、地方病型が最も多く、不顕性感染が主だが、発症した場合、消瘦、元気消失、食欲不振、眼球突出、下痢等、体表リンパ節の腫大等が認められる。  
子牛型、胸腺型（胸腺の腫大）、皮膚型（皮膚の限局性腫瘤）は散発している。
4. 潜伏期間・・・数ヶ月から数年
5. 伝播様式・・・水平伝播と垂直伝播が主で、水平伝播には、吸血昆虫や注射針、直腸検査用手袋等の連続使用がある。  
垂直感染には、子宮内（産道）感染がある。
6. 発生状況
  - (1) 国内  
1927年に初めて発生して以来、全国にまん延している。
  - (2) 外国  
北米、南米大陸、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、ロシアなど多くの国に分布している。
7. 診断方法
  - (1) 血清学的検査（抗体の検出）を行う。
  - (2) 病理組織学的検査を行う。
8. 予防方法  
有効なワクチン等はない。  
感染牛の早期摘発・淘汰と非感染農場からの導入。
9. 治療方法
  - (1) なし
  - (2) 発生した場合には、発生場所の消毒、感染牛の淘汰などが望ましい。